



顧問先の証憑管理・月次処理を自走化

AI導入補助金を活用した「証憑管理・クラウド会計」自走化支援サービス

クラウド会計を入れたのに楽にならない。 ボトルネックは「前処理」にあります。



前処理に奪われる時間

✓ 顧問先が証憑を
期日通りに提出できない

✓ 紙、PDF、メール添付な
ど提出方法がバラバラ

結局、税理士事務所が
✓ 毎月「催促と確認」に
追われる

証憑管理とクラウド会計運用の一体設計をご提案いたします

ツール導入にとどまらず、“月次が前に進む仕組み”の
顧問先様への実装を支援させていただきます。

運用ルールの整備と現地での実地指導によるサポート

クラウド会計ソフト

スキャン・保存ツール

AI導入補助金の活用

顧問先が迷わず処理できる運用を、3ステップで構築します。

Step 1: クラウド会計への 接続

- ✓ 顧問先に合ったソフトの導入・初期設定
- ✓ 証憑の整理方法と会計処理フローの接続
- ✓ 月次処理を見据えたデータ管理の標準化

Step 2: 証憑管理の ルール整備

- 紙証憑のスキャン手順の統一
- ✓ 保存先フォルダ構成と命名ルール設計
- ✓ 「誰が・いつまでに・何をするか」の役割設定

Step 3: 現地指導と 定着支援

- ✓ 実際の証憑・実際の画面を使った運用指導
- ✓ 現場の操作不安を取り除く実地トレーニング
- ✓ 運用が崩れないためのルール微調整

顧問先の「自走化」を確実にするIT導入支援プログラム。

IT導入支援プログラム（総額 450,000円）

① 初期設定支援 (50,000円)

- ・ 会計システム基本設定、勘定科目・税区分の設定、インボイス制度対応初期環境構築

➡ 基盤設定を整備し適合した会計処理を実現

② 業務設計 (150,000円)

- ・ インボイス制度・証憑管理・電子帳簿保存法対応の適格請求書発行フロー設計、
- ・ 消費税区分ルール策定、データ処理ルール構築、スキャナ運用設計

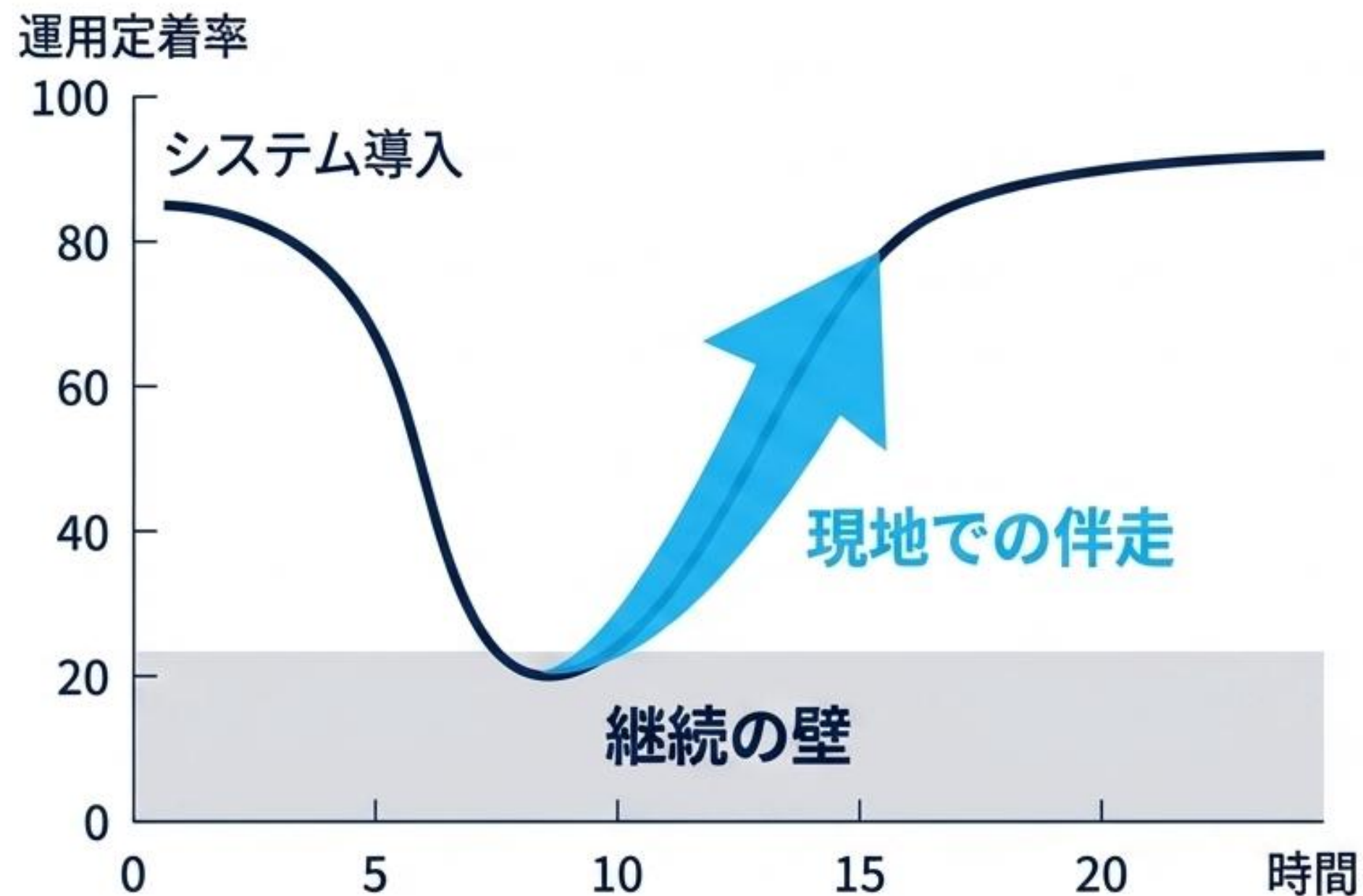
➡ 実務レベルで運用可能な体制を構築

③ 操作研修・運用定着支援 (250,000円)

- ・ 操作トレーニング、運用支援、初期フォローおよび課題対応

➡ 運用定着まで支援し顧問先の自走化を実現

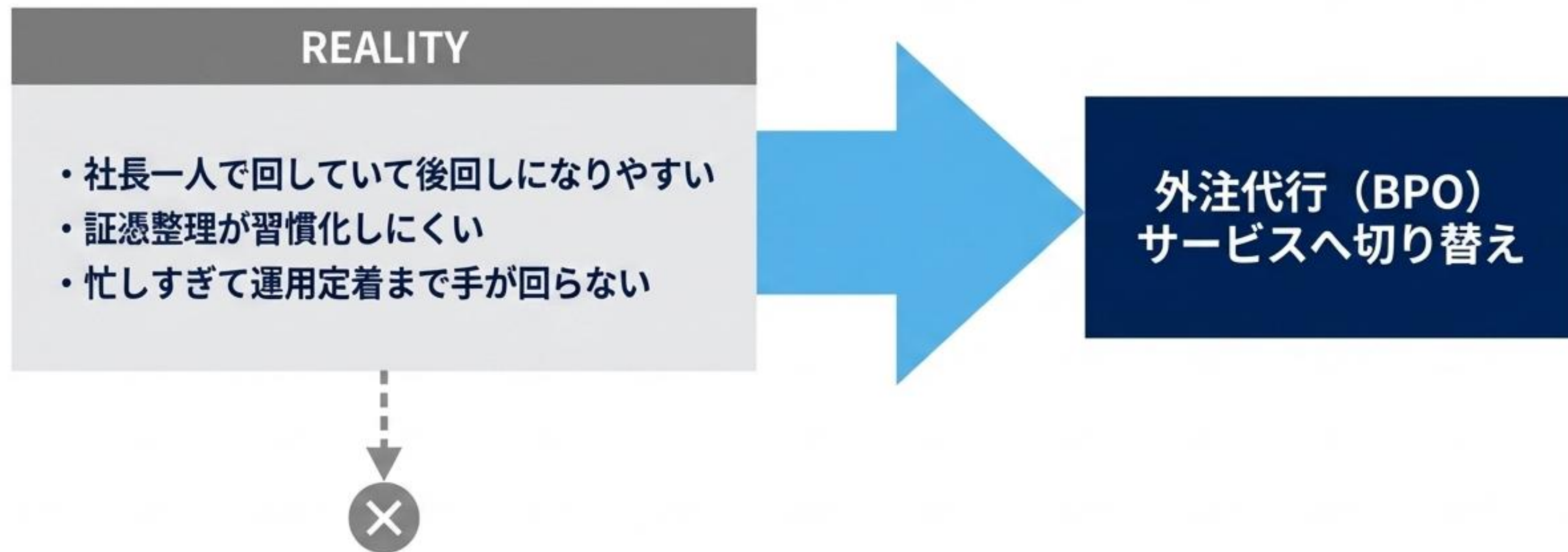
システムは「導入直後」に一度止まる。 だからこそ「伴走」が必要です。



「導入したけど使われない」
最大の原因は、現場の操作
不安と習慣化不足。

実際の証憑を使い、月次締め
に向けた動き方をその場で整
理し、運用が崩れないように
設計を微調整します。

**「どうしても自走が難しい」顧問先には、
外注（BPO）という逃げ道を用意しています。**



できない会社は無理をさせるのではなく、顧問先ごとに最適な運用を選ぶことが重要です。

顧問先の状況に合わせて「自走型」と「外注型」を使い分けるのが最適解です。

【自走化支援】 向く企業

特徴：担当者が明確にいる /
DXに前向き /
一定のルール運用が可能

メリット：長期的な生産性向上、
完全な自律化

【外注代行】 向く企業

特徴：社長一人で多忙 /
ルールが定着しない /
とにかく月次を早く進めたい

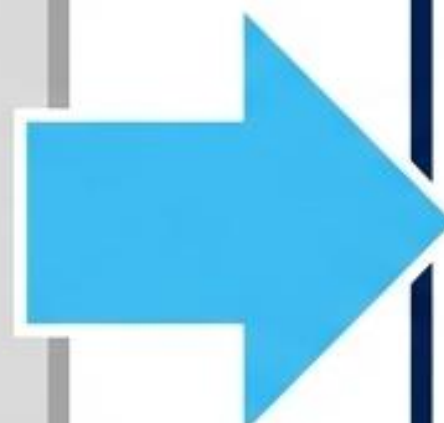
メリット：即効性、税理士事務所の
工数を即座にゼロへ

「全部同じやり方」にする必要はありません。事務所全体で無理なく回る「全体最適」を設計します。

自走化とBPOの最適化で、税理士事務所の生産性が劇的に向上します。

Before : 月末に業務集中・催促の往復

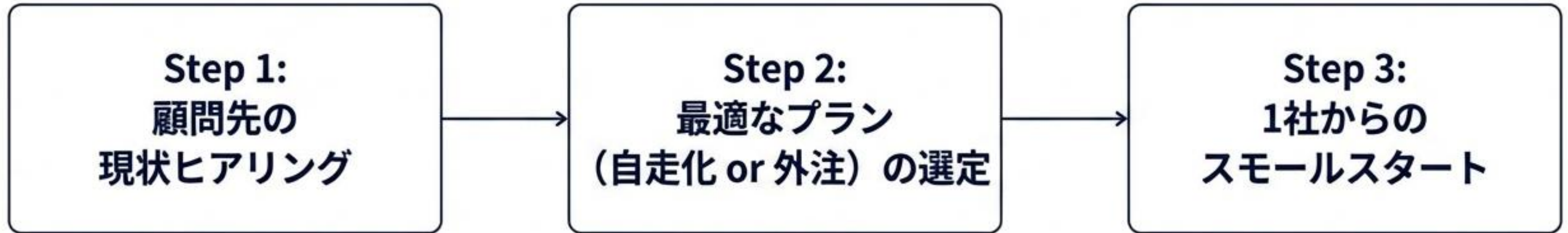
ストレス
催促の往復
催促の往復
催促の往復
遅延
確認漏れ
手間
属人化



After : 業務の平準化・即記帳

- 毎月の催促回数が大幅に減少
- 必要な証憑がまとまった状態で届き、確認工数が激減
- 月次着手までのリードタイムが圧倒的に短縮
- クラウド会計の活用度が最大化

顧問先が“自分で回せる状態”を、 まずは「一番課題の大きい1社」から作りませんか？



1社からでも相談可能です

導入補助金の活用相談から、自走が難しい場合の外注切り替えまで、
すべてサポートいたします。安心してお任せください。